

「博士課程教育リーディングプログラム」中間評価結果

機 関 名	東京大学	整理番号	P01
プログラム名称	社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成プログラム		
プログラム責任者	飯塚 敏晃	プログラム コーディネーター	城山 英明

◇博士課程教育リーディングプログラム委員会における評価（公表用）

[総括評価]

計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

[コメント]

リーダーを養成する学位プログラムの確立については、必修科目の中で政府機関や産業界からの課題提供に応えるプロジェクトの企画・設計等を行うとともに、世界トップクラスの大学から博士課程学生が集合してグループディスカッションを行うサマーキャンプや国際フィールドワークショップなど、充実したカリキュラムを実施している。さらに、学生主導プロジェクトや国際シンポジウム、海外での共同研究やインターンに参加する国際プロジェクト実習、学位審査の際に提出するサイドペーパー執筆など単位化されないカリキュラムについては、申請時の計画を上回って実施している。

産学官民参画による修了者のグローバルリーダーとしての成長及び活躍の実現性については、既にプログラム経験者の中から世界銀行や実践的研究機関へ就職した者やNPOを創設した者を輩出しており、現在のプログラム生の中にもグローバルリーダーとなる意欲を持つ者が多く、将来的にもグローバルリーダーを育成することが期待できる。

グローバルに活躍するリーダーを養成する指導体制の整備については、語学力に関して履修プログラムの7割以上が使用言語を英語とし、面接・会合・合宿・審査・申請・企画・報告については全て英語で実施している。また、プログラム担当者と特任教員からなる企画運営委員会及び特任教員会議を毎月開催し、学生委員会と協議の場も設けている。

優秀な学生の獲得については、プログラム開始以降、常時応募倍率1.6～2.5倍により優秀な人材を確保し、所属専攻や日本人学生・留学生の比率もバランスが取れている。

世界に通用する確かな学位の質保証システムについては、QEやRDW、修了審査で厳しく審査することにより質を担保している。

事業の定着・発展については、平成28年度より公共政策大学院に博士課程を設置し、国際卓越大学院構想と併せて本プログラムを継続する計画である。また、支援期間終了後も大学として学生に対する一定の財政支援を継続して行うことを確約しており、事業の定着・発展が期待できる。